

質 疑 回 答 書

件名 谷川漁港泊地航路浚渫工事

	質問事項	回答
Q 1	大型土のうの製作について流用土が想定されていると思いますが、浚渫土を転用しての製作は困難と考えます。また、他現場で発生した土砂を転用する場合には、他の現場の流用土を想定していますか。	購入土として計上しております。
Q 2	大型土のうについて、10m×20m×2=60袋/段で設置を想定されていると思いますが、設置面積はA=200m ² と算定されます。この条件で設置すると、浚渫土砂量 5,144m ³ ÷ 200m ² = 25.72m となり、必要高さは H=25.72m となります。どのようにお考えでしょうか。	一度に全数量を浚渫し、曝気ヤードに揚泥するのではなく、曝気・運搬と浚渫・揚泥を繰り返しながらの作業を想定しております。なお、想定している作業船の泥輸容量から、日当たり作業量を推計し、2段積み的大型土のうで満足するものと考えております。
Q 3	上記により谷川漁港背後地に予定されている仮置場に、浚渫土をすべて仮置することは不可能と思われます。その場合、別の場所に浚渫土の陸揚げを協議できますか。	Q 2 に対する回答のとおりですが、必要に応じて受注後に別途協議とします。
Q 4	曝気後の土砂運搬および大型土のう撤去については、どのようにお考えでしょうか。	他工事への流用を検討しております。
Q 5	事業損失防止施設費が計上されていませんが、本工事では汚濁防止措置が必要であります。汚濁防止措置について変更協議となりますか。	必要に応じて受注後に別途協議とします。
Q 6	図面上に、揚土場所の記載がないと思うのですが、揚土場所はあるのでしょうか、ご教示ください。	曝気ヤード付近に係船し、揚土することを想定しています。
Q 7	揚土場所から曝気場所への小運搬が設計に入っていないと思うのですが、設計変更の対象と考えてよいのでしょうか。	作業船の作業半径内で、直接曝気場所へ仮置きできると考えておりますが、必要に応じて受注後に別途協議とします。

	か。	
Q 8	曝気ヤードの中央に排水側溝があり、また、漁業関係者のポンプ施設等があり排水施設の養生等を考えると土砂の仮置き場所としては狭いと思うのですが、他近隣にヤードとして使用できる場所はあるのでしょうか。	他のヤードは想定しておりませんが、必要に応じて受注後に別途協議とします。
Q 9	供用係数が記載されていないのですがご教示願います。	係数ランク 1 です。